

システムの特徴

トレーサビリティ対応

牛肉トレーサビリティに対応
 継承ラベルとハンディ端末・バーコードスキャナを用い
 11桁の番号を入力・転記することなく管理できます。
 (10桁の特定JASにも対応)

計量・ラベル発行・売上 連動

製造現場にタッチパネル端末・計量器・ラベルプリンタを設置
 簡単な操作で計量・ラベル発行・売上計上までを行います。

入力は受注入力だけでもOK・売上傳票自動発行

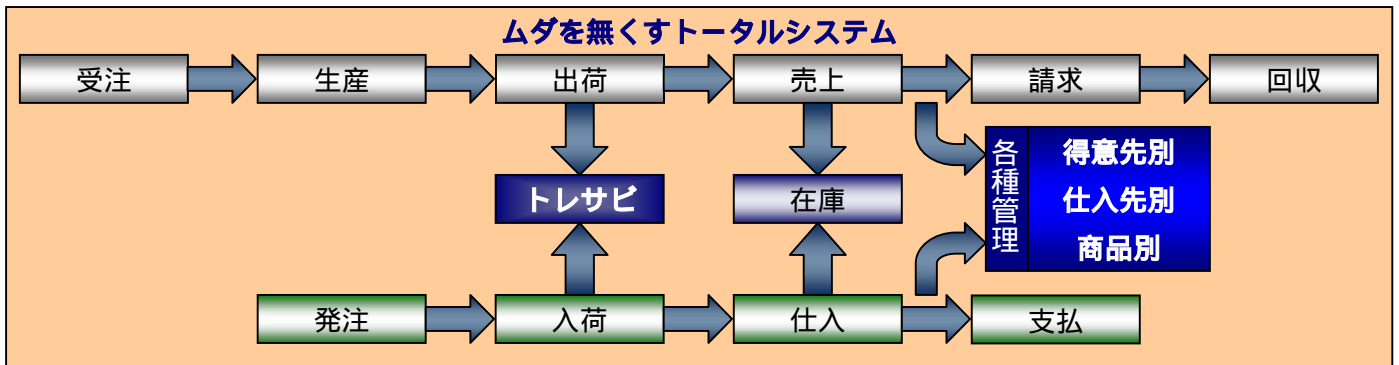
先日付入力可能な受注入力をするだけで、対象日に生産加工指示を発行
 あとは現場にて簡単な操作で完了報告をすれば売上傳票まで自動発行されます。
 生産加工指示と生産加工完了報告・売上傳票を別々に入力する必要がありません。

全て自社開発

全て自社開発で自由度の高い設計のため
 お客様のニーズに沿ったカスタマイズが可能

その他多彩な機能をご用意

専用伝票対応(オプション)
 見積書作成(得意先商品単価変更機能付き)
 FAXOCR連携による自動受注(オプション)
 発注管理(オプション)
 未払金管理(オプション)



導入前

出荷時の忙しい時の売上傳票入力がとても大変
 重量等の転記・入力ミスがあり訂正も大変
 伝票入力をして、伝票発行を行うので時間がかかり、配送が伝票待ちをしてしまう。
 どこまでできているのが工場内の状況がつかめない。商品が揃う確認ができない。
 トレーサビリティの個体識別番号の管理が大変
 電話で識別番号の照会があっても、すぐに対応できない。

導入後

先日付入力可能な受注入力で、翌日以降の生産・出荷の入力が可能なことにより、出荷時の煩雑さが低減されます。
 計量器からのデータを取得しますので、売上傳票の入力もありません。また人的な転記ミスを大幅に減らすことが出来ます。
 伝票は現場端末からの完了報告によって自動発行されるので、転記ミスがなく伝票待ち時間を大幅短縮できます。
 リアルタイムで完了報告が上がるので、受注分の加工の残等をすぐに確認できます。
 継承ラベル・ハンディターミナル・バーコードリーダを用い、入力の大幅削減
 画面問合せにより、リアルタイムに入荷出荷の履歴を参照することが出来ます。